

株式会社カネキ吉田商店の「SDGs宣言書」の策定支援について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）では、「77SDGs支援サービス」を通じて、株式会社カネキ吉田商店（以下、「当社」といいます。）の「SDGs宣言書」の策定を支援いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当行は、持続可能な社会の実現に向け、地域金融機関として企業の「SDGs」への取組みを支援してまいります。

記

企業名	所在地	事業内容
株式会社カネキ吉田商店 (代表取締役 吉田 信吾)	本吉郡南三陸町志津川字 沼田150番地154	水産加工業

(企業概要)

当社は1965年に創業し、「めかぶ」を中心に「うに」「あわび」「かき」の製造加工を行っております。「海の恵みに感謝し、誠意と情熱をもって生活者の健康作りと新食文化の創造に貢献します。」「やりがいと豊かな心で自らの幸福をつかみます。」「真心こめた食づくりで常に社会から信頼、支持される企業集団を造ります。」を経営理念として掲げ、品質の国際基準であるHACCP、ISO9001の取得や更新を通じて安全で高品質な商品の提供に取り組んでいます。

また、東北大学との共同研究によるわかめの種苗開発やASC認証商品の利用などを通じて限りある水産資源の保護にも取り組んでいます。

当社はこれからも真に安心でおいしい食づくりを通じて持続可能な地域社会の実現に貢献して参ります。

注. 当社の「SDGs宣言書」については、別紙のとおりです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。





SDGs宣言書

株式会社力ネキ吉田商店

2022年2月4日



七十七銀行のSDGs診断により「プラチナSDGs」のランクを取得しました。
当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組 カテゴリ	SDGs達成に向けた 重点的な取組テーマ	取り組みの内容	関連が強い SDGsゴール
環境	<u>温室効果ガス削減</u>	環境に配慮した事業活動を行い、省エネへの取り組みを継続します。 ・事務所内のLED照明の採用 ・太陽光発電等再生可能エネルギーの導入 (年間100tのCO2削減)	 
	<u>生物多様性 天然資源の持続的利用</u>	天然資源の利用に際して、持続的利用に配慮した調達に取り組んでおります。 ・東北大学との共同研究によるわかめの種苗開発 ・ASC認証製品の利用	  
	<u>3Rの推進</u>	生産活動で発生する資源の再利用、再資源化に取り組んでいます。 ・包装資材の段ボール化の推進 ・めかぶ加工時に発生する端材を地域企業と連携し堆肥や飼料へのリサイクル実施	  
公正な 事業慣行・ 組織体制	<u>事業継続</u>	事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案し、企業の事業継続に取り組んでいます。 ・事業継続計画（BCP）の策定 ・BCPに基づく定期的な教育・訓練の実施	  
製品・ サービス	<u>製品サービスの安全性 品質保証</u>	お客様に安全で高品質な商品を提供するための仕組みづくりに取り組んでいます。 ・不具合発生時の体制整備 ・HACCP・ISO9001の取得、更新にかかる活動を通じた製品安全の体制整備	  
社会貢献・ 地域貢献	<u>地域の防災減災 地域の防犯 地域の教育の場づくり</u>	地域に根ざした企業として地域と一体となった取組を実施しています。 ・避難場所の提供 ・地域の防犯活動への参加 ・地元学校の職業体験に参画	
コミュニ ケーション	<u>情報開示</u>	SDGs達成に向けた自社の取組を積極的に公表し、持続可能な企業を目指します。 ・ホームページなどによる情報開示の強化 ・自社の取組のみならず、取引先と連携したSDGsの推進	

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

